

西宮市上中市～箕面市瀬川

● 歩行距離 / 12.1km ● 標準歩行時間 / 3時間01分 ※1時間4kmで計算しています



髭の渡し跡

江戸時代に武庫川に渡しがあり、1909年(明治42)に甲武橋がかかるまで渡しは続けられました。西昆陽村の髭の安兵衛さんの茶屋が近くにあったことから髭の渡しと呼ばれたようです。西行きは西昆陽村と常松村が隔月で、東行きは段上・上中市・下中市村が月番でそれぞれ渡しを担当しました。現在、行者堂が建てられている東岸河川敷付近に東の渡し場があったと思われます。

武庫川コスモス園

武庫川河川敷に平成15年に新たな花の名所が誕生しました。この一帯はこみの不法投棄など一時は荒れ果てていましたが、多くのボランティアの皆さんの努力により、見事なコスモス園に生まれ変わりました。例年、9月の初めに550万本分のコスモス(種類:センセーションほか)の種をまき、10月下旬～11月下旬にかけて美しいピンクのじゅうたんが広がります。

昆陽寺

僧・行基が建てた昆陽布施屋の後身寺院ともいわれています。戦国期に兵火にかかって焼失し、その後再建されました。朱塗りが鮮やかな山門と境内の観音堂は、昭和44年(1969)に県の文化財に指定。同寺は西国四十九薬師霊場の第十九番霊場です。

浄源寺

浄土真宗本願寺派の寺。蓮如上人が有馬に向かう途中、この地で説法を行い、そこが後に寺になったと伝えられています。境内には、イチヨウを母木としてキリとムクノキが寄生している木があり、市の天然記念物にも指定されています。一里塚的な存在であったとされています。

弁慶の泉

源義経一行が西国街道を尼崎へ落ち延びた際、武蔵坊弁慶がこの泉でのどの渇きを潤したと伝えられ、この名で呼ばれています。昔から一帯の灌漑用水として重要な役割を果たした由緒ある泉ですが、近年水量の低下が問題となっています。

富松城跡★

長享2年(1488)の史料にその名がみえ、西摂の戦乱の舞台となった戦国時代の城館跡です。現在、城の西側の守りとして築かれた土塁の一部が残されており、幅11m、高さ4mあります。これまでの発掘調査では土塁の内側(東側)にあたる場所で大規模な堀が見つかることから、富松城は土塁と二重の堀を備え、東西150m以上、南北200m以上の規模の城館であったと推定されます。

尼崎市立歴史博物館★

江戸時代の尼崎城本丸跡に位置する歴史博物館は、昭和13年に竣工した尼崎市立高等女学校の校舎を改装し、令和2年10月10日に新たに開館しました。常設展示では、尼崎の原始から近現代までの歴史を紹介し、特別展や企画展、講演会や体験学習事業等の教育普及活動を行っています。また地域研究史料室では、歴史的公文書をはじめとした地域の歴史に関する史料を収集、保存し、レファレンスを行うなど公文書館機能も備えています。
開館時間▶9:00～17:00 入館料▶無料 休館日▶月曜(祝日の場合は直後の平日)、年末年始 ☎06-6489-9801

臂岡天満宮

都から大宰府へ向かう途中の菅原道真が当地で休息した、との故事にちなんで、のちに道真を祀る社が建てられました。道真は休息の際に臂を枕に休息したので、それ以来肘岡(臂岡)と呼ばれるようになったと伝えられています。境内では、近くにあった古代寺院の伊丹廃寺の巨大な礎石も見られます。

市立伊丹ミュージアム

江戸時代には「酒のまち」として繁栄し、文人墨客が訪れる文化の薫り高いまちとして知られる伊丹市。その中心市街地に令和4年4月22日にGrandオープンした当館は、美術・工芸・俳諧俳句・歴史の多分野に及ぶ資料の収集保存と活用、多彩な展覧会や講座、文化財に指定された建造物の継承・公開を行っています。
開館時間▶10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日▶月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始 ☎072-772-5959

正光寺

「中納言石」「夜泣き石」といわれる石がある寺。江戸時代に麻田藩の藩主がこの石を陣屋に持ち帰ったところ、毎晩「帰りたい」と泣いたため、正光寺の近くの辻に持ち帰らせました。その後、毎年2月23日に中納言祭が行われ、人々が石の周囲で念仏を唱えたといいます。

箕面大滝★

日本の滝百選にも選ばれている箕面大滝は、明治の森箕面国定公園にあり、その落差は33メートル。岸壁から流れ落ちる水の姿が農具の「箕」に似ているところからこの名で呼ばれるようになりました。秋は紅葉の名所として有名ですが、春は爽やかな新緑、夏は清涼な水しぶき、冬はあややかな雪化粧が、滝をより美しく引き立てます。

